

夏季強化学習週間 8月17日(月)～22日(土)

お盆明けの1週間を「夏季強化学習週間」として取り組みました。

夏休みの後半はどうしても惰性で過ごしがちです。しかし、高校3年生にとっては、もう2学期から大学校や奨学生入試がスタートします。もちろん、1、2年生にとっても2学期は大きくステップアップする時期です。そんな大切な期間をスムーズにスタートさせるため、課外授業、英単語・リスニングテスト、自蹊タイム(自習)を中心に1日の生活を整え、1週間を過ごしました。

英単語・リスニングテストは全学年共通のテストを行い、クラス平均などで競います。英単語・リスニングの力は大学受験には欠かせませんが、これは理解力というよりは頑張った努力の量で力が決まりますので、後輩でも十分に勝機があります。今回は教室もシャッフルし、一つの会場で複数学年が受験するという緊張した環境を作って実施しました。

本校では「受験は団体戦」をモットーとしていますが、この取り組みもその一つです。後輩ががんばって平均点を上げれば、先輩はさらに頑張らざるを得ません。勉強はもちろん自分のために行うのですが、同時に先輩や後輩へのエールにもなるのです。



1年 杉内 和さん
(二本松市立二本松第三中出身)



今年は春の合宿がなかったためか、淡々とした毎日でしたが、強化学習週間で気持ちが引き締め、集中力が上がりました。

先輩方といっしょに活動する機会も多く、自分の学習態度の甘さに気付くことができました。

以前よりも、すきま時間を使って、英単語や古文単語といった、日々の積み重ねが必要な学習や、効率を考えた学習ができるようになりました。

2年 吉成美宥さん
(伊達市立桃陵中出身)



日頃のだらけた生活を見直し、受験生の自覚を持った生活習慣をつけることを目標に参加しました。

強化学習週間では、普段の生活でも多くの勉強時間が確保できることが分かり、自分の生活の中の無駄な時間を見直すという課題が見つかりました。

今まで自分に足りていなかった、時間の使い方や集中力を意識して実践していくことを心がけています。

3年 佐藤春翔さん
(福島市立大鳥中出身)



強化学習週間では今まで受けてきた模試を通して分かった苦手分野の克服を目標としました。

最終日には大学入学共通テストの対策演習が行われ、分かったと思っていたところにも穴があると気付きました。苦手分野の完全な克服とまではいきませんでしたが、苦手意識を払拭する良い機会になりました。

志望校合格のためにはこのような努力の継続が必要と再確認できたので、今後につなげていきます。

智育活動 レポート

高校生ゲッタークイズ

「考える力・ひらめき力」を高めることが目的とした活動をしています。8月22日にニュース博識甲子園の全国一斉WEB試験にチャレンジしました。



▶ニュース博識甲子園に参加しての感想は？

3人で1チームでそれぞれ違う問題が与えられ、その合計点で競う方式なので個人での解答となりましたが、事前にみんなで話し合っただけで解いた過去問などを生かすことができよかったです。

▶高校生ゲッタークイズチームの活動の楽しさは？

クイズを解くために必要な知識を得られるのはもちろんですが、協力することで学年の垣根を越えた信頼関係が生まれます。また、様々な人と意見交流をすることで新たな視点や考え方を獲得できます。

2年 池田一翔さん
(福島大学附属中出身)



▶今後、どんな活動を予定していますか？

これからは資格取得を目標に活動していく予定です。また、11月に「高校生クイズ」に参加するので、その準備も、合わせて行っていきます。

先生インタビュー 高橋晴佳先生(英語科)

▶簡単に自己紹介をお願いします。

特進コース1年2組の担任をしています。教科は英語です。

▶成蹊の特別進学コース出身ということですが、思い出はありますか？

とことん質問でたし、先生方も分かるまでつきあってくれました。夏休みに自分たちで企画して「数学合宿」をやったことが印象的です。合唱祭では優勝を目標にクラスが一つになったことも思い出深いです。

▶教員になってみてどのように感じますか？

当時は分からなかった、指導の意味や先生方の大変さがよく分かりました。自分も同じように生徒たちと接しなければならぬと感じます。

▶現在の特別進学コースはどうですか？

生徒たちは大学合格に向けてひたむきに努力しています。縦のつながりが強いので、先輩を通して、2年後、3年後の自分がイメージしやすいことが強みだと思います。

▶生徒たちに伝えたいことは？

授業は一期一会だと思って受けましょう。自分中心にならず、先生を信じること。生きていく上で強くならなければいけません。かつ、受け止めるしなやかさが必要です。

